

「愛媛の未来をひらく少年の主張大会」で最優秀賞を受賞した
篠山中学校 2年生の山本彩羽さん



愛媛CATV
動画



愛媛の未来をひらく
少年の主張大会

県内 12 校 1,314 人がそれぞれが生活で思っていることなどについて作文を書いて、予備審査を通過した 10 人が会場で、主張を行いました。



▲壇上に上がり、コロナ禍で感じたことを発表する山本彩羽さん。

中学生が日常生活で感じたこと、社会や世界に伝えたいことを発表する「愛媛の未来をひらく少年の主張大会」が9月5日(土)に松山市の県生涯学習センターであり、「コロナと向き合う」というテーマで発表した。篠山中学校2年生の山本彩羽さんが最優秀賞に選ばれました。

「緊張したけど、周りの人たちの発表を聞いてとても勉強になりました」と話す山本さんは、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、変化した中学校生活について発表しました。

コロナ禍で、学校が休みになったり、授業が始まっても感染しないように対策したりと今までとは違う生活になった山本さんは、特に自身が所属するソフトテニス部の活動で、「後輩に近くで指導してあげられなくなった」とコロナの影響を感じていました。「コロナのせいで、できないことがたくさんあったが、コロナだから何ができるのかを周囲の人たちに伝えたい」という思いが審査員に伝わり、今回の受賞となりました。

令和 2 年度
第 42 回少年の主張全国大会

大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ウェブ開催にて開催されます。全国大会出場者(12人)の主張発表動画を掲載し、11月8日(日)に審査委員会で審査した結果を後日公開する予定です。

編集後記

福浦小学校と地域の合同運動会を取材しました。小学生を中心に園児から大人までたくさんの方が参加し、元気よく競技に取り組んでいた姿が印象的でした。

アトラクションとして最後に披露された「風の子太鼓」は、旧樽見小学校で引き継がれていた「樽見太鼓」が起源のようです。子どもたちの迫力のある演奏をイベントなどで見かけたら、ぜひご覧になってください。

◎

ひめの凧を取材しました。愛媛県が16年の歳月をかけて開発したお米は、味も品質も良く、病気にも強いため育てやすいという話をお聞きしました。

品質を高く保つために、県に認められた、お米の生産者しか栽培できないようです。しかし、愛南町でも認められる生産者が増えて、愛南町の特産品の一つになれば良いなと思いました。

◎

愛南町の世帯数と人口

令和2年 10月1日現在

世帯数	10,232世帯 (+3世帯)
人口	20,586人 (-26人)
男	9,741人 (-14人)
女	10,845人 (-12人)

※ () 内は前月比

- 10年前 同月の人口 25,420人
- 愛南町の高齢化率 44.3%

編集・発行